

# 逸見さんの死を悼む

1994・3・8 (火)

早稲田大学本庄高等学院・生徒会執行部 (庄司 健)

## 5TH ANNIVERSARY

フジテレビアナウンサー

### 逸見政孝氏講演会

#### 「逸見政孝かく語りき」

▶ 主催—— マスメディア研究会・稲稜祭実行委員会

「来る?」「来ない?」の巷の噂もなんのその、フジテレビアナウンサー逸見政孝さんが我校へやってきます。「俺、そんな人知らねーよ」と噂されてる奴は遅れています。何を隠そう、我が早稲田大学を卒業してフジテレビに入社、現在は「スーパータイム」で、幸田シャーマンとして活躍中。そしてガンに罹り、闘病生活を送られていた最中の昨年11月、第12回稲稜祭が行われました。その際に「逸見さんへ千羽鶴を贈ろう」ということで、学院生、来場者、総出で千羽鶴を折りました。しかし、残念ながら、僕らの願いもむなしく、逸見さんは昨年の12月25日に亡くなられてしまいました。でも、我が本庄高等学院生の誠意は、十分に受け取っていただけたことを、今では確信しています。



マスメディア研究会

on 11/8 (SAT)  
at 大教室 13:00~

▶ 紹介 逸見政孝 (41) 昭和20年2月16日生



大阪府の五軒長屋に生まれる。高校時代、初恋の相手にお別れを告げ、その娘に「あの時つき合っていたらよかった。」と思ってもらうため、フジテレビアナウンサーを目指し昭和39年早稲田大学第一文学部演劇科に入学。同じフジテレビアナの松倉悦郎氏と同級。昭和43年、念願のフジテレビに入社、3時のあなたの司会やFNNニュースレポート6:30等のキャスターを経ていまに至る。今年度のW選挙開票速報では総合司会をつとめ、フジテレビの看板アナとしての名を高めた。

今から7年前、第5回稲稜祭に特別ゲストとして来てくださった、我々の大先輩・逸見政孝さんが、勇気ある「ガン告白宣言」をし、闘病生活を送られていた最中の昨年11月、第12回稲稜祭が行われました。その際に「逸見さんへ千羽鶴を贈ろう」ということで、学院生、来場者、総出で千羽鶴を折りました。しかし、残念ながら、僕らの願いもむなしく、逸見さんは昨年の12月25日に亡くなられてしまいました。でも、我が本庄高等学院生の誠意は、十分に受け取っていただけたことを、今では確信しています。

そして、逸見さんの最後の著書として出版されました、「ガン、再発す」が、お礼状とともに本学院宛てに贈られました。そのお礼状をここに掲載します。また、その本は、学院図書館に寄贈することになりました。以上、報告まで。

逸見晴恵

先略  
主人の入院の際には、心のこもった鶴をお送り頂き、誠にありがとうございました。誠にありがとうございました。闘病記が出版されました。是非お読み頂き、御理解頂きたいです。幸がこえます。

謹啓 寒さもひとしお身にしみるこの頃でございます。夫、逸見政孝(戒名誠實院温譽和顔政孝居士)が亡くなりまして、早いもので本日、四十九忌の法要と納骨を滞りなく営みました。葬儀に際しましては、ご多忙のところ、ご丁寧なご弔慰を賜り何と御礼を申上げてよいかわかりません。昨年一月に発病してちょうど一年の闘病生活でございましたが、精一杯生きる努力をし、力尽きてしまいました。皆様の御厚情は本当に有難く感謝に耐えられません。大好きだったカトレアの花にうもれた、心あたたまる葬儀を無事終えることができましたのも、皆様のお陰でございます。心から御礼申し上げます。

「僕は死ぬ気がしない」この言葉を何度聞いたことでしょうか。勇気あるガン告白宣言以来復活に命をかけて参りました。沢山の御芳志に対し、拝眉の上お礼を申上げるべきところ、誠に勝手ではございますが、供養の印として癌征圧の研究発展の一助としていただくために「財団法人癌研究会」に寄付させて頂きたく存じます。

略儀ながら、書中をもってつつしんでご報告し、今後共ご交情をお願い申上げ、ごあいさつとさせていただきます。

平成六年二月十一日

逸逸逸  
見見見  
太晴  
愛郎恵